



高輪だより

平成30年度10月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

お月見の夜に

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

9月の誕生会では、「14ひきのおつきみ」のサウンドストーリーをみんなで楽しみました。14匹家族のねずみたちがお月見台をつくり、支度を整え、豊かな実りの象徴である、まんまるのお月様が昇ってくるのを皆で待ち、自然の恵みに感謝するお話です。

今年度から始まった誕生児の保護者の方々とのシェアトークも5回目となり、少人数でお子さんのことなどをお話できる機会として定着してきました。今回話題になったことのひとつに、兄弟姉妹のお子さんたちに「ぼく（わたし）とどっちが好き？」と聞かれた時に「どっちも好き」では満足しないようなことがあり、どうこたえたらよいのでしょうか、ということがありました。「それぞれに『一番かわいい』と言い、子どもたちはそれぞれ大きくなるまで自分だけにそう言っていたと思っていたという話がある。」「『あなたはルビーで、あなたはサファイヤ、みんなキラキラ光るお母さんの宝物箱にある宝石』と伝える方法を聞いたことがある」「みんな宝物、生まれた順に宝物1号、2号、・・・と伝えている」

「先に生まれて来た子は、下が生まれて来たときから、我慢させられることが多くなり、かわいそうだなと思うことがある、お母さんと遊びたいと言われる」などなど話が盛り上がりました。上の子下の子に拘らず、子どもは時に不安に襲われ、ぼく（わたし）のお母さんとの確固とした繋がりを確かめたくなる場合があるのでしょうか。そんなときは、その子と二人だけ（兄弟姉妹と一緒にではない）の時間を作るとよいかもしれません。我が家もそんな時期に、保育園の先生から「二人だけのスペシャルなお出掛け」をご提案いただき、成果があったことを思い出しました。

高輪幼稚園の子どもたちはお家の方々の愛情をいっぱい受けて幸せだということもシェアトークで感じます。十五夜のきれいなお月様を眺めながら各ご家庭の団欒を思い浮かべ安らかな気持ちになりました。

さて、10月13日（土）は運動会です。各学年から楽しい曲が流れ始め、運動会への取組も始まりました。どうぞ楽しみにされ、ご家族で応援に来てください。

3歳児 親子製作かわいいペンギン



4歳児 有木先生と楽しい遊び

5歳児 3歳児をゴールで待ち受ける

